

# 第5回マニフェスト大賞

## 切実な本音に耳傾け

人とまちを元気に――。市議団のマニフェストといえる「川口改革プログラム」のストーリーだ。06年10月に作成され、継続的に検証を重ねている。そのプロセスで、積極的に市民の声を反映させる努力と工夫が高く評価された。そして、プログラムは市の政策として実を結んでいる。「対話と責任をキーワードに手探りで始めたが、今後とも引き締めて政策実現にまい進したい」と立石泰広・市議団長(48)は喜びを語る。

大賞  
地方議会

### 自民党 埼玉県川口市議団

プログラムは▽環境▽経済▽教育▽行財政――など9分野137項目で政策目標を掲げた。作成から1カ月後に1300人の市民を集めた報告会、08年10月には検証報告会を開いた。今年8月現在の進捗よく状況は「実現33項目」(24・1%)、「進行中88項目」(64・2%)で、より客観化するため第三者機関にも評価してもらおうという。

市民の「切実な本音」には地道に耳を傾けてきた。今年5、6月には町会などの協力で市民アンケートを実施し、1528人から回答を得た。議員団も交代でJR川口駅などに立ち、市政への要望を肌で感じた。「市民が(直接)意見を伝える機会が少ない。アンケートで参加意識も高まった」(立石団長)

市民目線で分かりやすい政策集「市民(あなた)への約束」も作成した。来年5月の改選期から4年間を達成期限とし、政策項目は60に絞り込んだ。

積極的な政策提言を心がけ、今年の3月議会で議員提案による「市中小企業振興条例」を議決し、市は「産業振興指針策定会議」を設置した。議会での「一問一答方式」の試行導入、本会議のネット中継……。議会改革も模索している。そして、市議団全員が今後もプログラムの政策実現と検証を続けていく決意を新たにしている。【鶴沢哲雄】



マニフェスト大賞グランプリを獲得した自民党川口市議会議員団。川口市議会議場にて